

## ☆ねらい

There is (are) ～の構文を含む英文が5文以上書ける。

## ☆扱う場面

- ・学年 2年
- ・「There is (are) ～」を学習した後のまとめの自己表現活動
- ・所要時間 2時間

## ☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 例文を読んで内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの文で何が書かれているのかを確認させながら、紹介文の意味と文のつなげ方を押さえる。</li> </ul>
② 紹介したい場所、そこに何があるのか、そこで何ができるのか、どう思うのかなどの日本文を決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の地域の特徴を調べたり、書いたりさせる。できるだけ内容の重複がないように確認させる。</li> <li>・例文を見て、文の順番を意識して取り組ませる。</li> </ul>
③ 英文で紹介文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き始めは“There is ～in our town.” 書き終わりは“Please come to the ～.” にするように伝える。</li> <li>・書き終えたら ALT に見てもらい、コメントをもらうように伝える。</li> </ul>
③ 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読む練習をした後に、全体の前で発表させる。</li> <li>・紹介文は清書をさせて掲示する。</li> </ul>